

南風原町 神里区自治会

集落
部門

伝統文化で集落を守り、結いの心を育むふるさとづくり
(令和元年度認定)



神里区自治会では、毎年、旧盆と十五夜に獅子舞の奉納(シーサーケーラシー)が行われている。奉納は、5か所の宗家を訪ねた後、集落の子ども達と戯れる特色ある行事である。約300年ほど前に、神里区で天然痘が流行し、それを払うために作られたのが始まりと言われている。平成9年には3代目のシーサー新旧交代式が行われた。地区の繁栄に繋がるものとする尊い願いが込められており、神里区の伝統文化として継承され、子供から大人まで地域の人々にとって身近な行事である。

また、神里区自治会を中心に、青年会、女性会、老人会などが連携しながら、「腰ユックイー」、「盆踊りとエイサーの夕べ」などの自治会行事を引き継いできており、区民の一致協力する「カンザトUNCHUの精神」を表すものであり、集落を守り、結いの心を育むものである。

神里区には、「神里野菜生産部」、「神里洋ラン生産組合」、「神里果樹生産組合」などの生産組織があり、神里区の農業を支えている。神里果樹生産組合では、栽培技術の向上や農家所得の安定を図るため、定例の勉強会や現地検討会などを行っている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通した「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



新旧交代式への出発の様子



腰ユックイー



盆踊りとエイサーの夕べ



生産組合活動(講習会)の様子



満開のひまわり畑(神里地区区内ほ場)



ミーガー(農村公園)